

企画展「久留米市美術館のコレクション ing 九州洋画家相関図」

2016年11月19日に開館した久留米市美術館では、九州洋画の体系的コレクションをめざす美術品収集が現在進行中です。開館後初のコレクション展示となるこのたびの展覧会では、久留米市美術館の収蔵作品、石橋財団及び個人等からの寄託作品合計約100点を紹介します。

藤島武二と教え子たち、画壇のライバルであった黒田清輝と吉田博など、画家たちは意外なところでつながっています。彼らの似顔絵とともに、交流関係や意外な素顔を紹介することで、九州の洋画家たちの人と作品に親しみを持ち、理解を深めていただけるような展示にしたいと思います。

展覧会名	久留米市美術館のコレクション ing 九州洋画家相関図
会期	2018年2月13日(火) - 2018年3月25日(日)
出品点数	作品：約100点
会場	久留米市美術館(本館2階)
主催	久留米市美術館
後援	久留米市教育委員会
スペシャルパートナー	株式会社ブリヂストン
オフィシャルパートナー	学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店
入館料	一般500円(400円) シニア・大学生300円(200円) 高校生以下無料 ※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上、前売りなし。上記料金にて石橋正二郎記念館もご覧いただけます。
休館日	月曜日
開館時間	10:00-17:00(入館は16:30まで)
交通案内	JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分(在来線あり) 福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関するお問い合わせ	久留米市美術館 展覧会担当：森山秀子 広報担当：佐々木奈美子 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015(石橋文化センター内) TEL0942-39-1131/ FAX0942-39-3134

展覧会のみどころ

- ⇒ 師弟・影響
- ⇔ ライバル同士
- ↔ 交友関係

第1章 筑後洋画壇

森三美から青木、坂本へ、さらに松田諦晶から古賀、松本英一郎らへ、筑後洋画の系譜は脈々と受け継がれている。高島野十郎は、孤高の画家として知られるが、若い頃、松田ら同郷の画家たちと交流があった。



② 高島野十郎《ぶどうとりんご》
1954年



① 高島野十郎《蠟燭》

早川銈太郎・森三美 ⇔ 松本豊太・青木繁・坂本繁二郎

松田諦晶 ⇔ 高島野十郎 ⇔ 梶原貫五

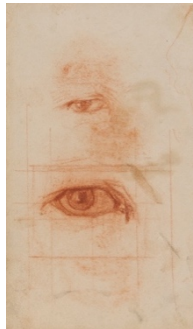


古賀春江・松本英一郎・内野秀美

第2章 青木繁伝説

若くして亡くなった青木繁は、画家を志す故郷の若い世代にとって伝説の画家となっていた。

③ 青木繁《眼（二つ）》
1904年
寄託作品



青木繁



多々羅義雄

井上三綱・田崎廣助

第3章 坂本繁二郎詣で

画家を志す者は、一度は坂本繁二郎のもとを訪れ教えを請うた。しかし、坂本は弟子をとらない主義であり、また才能ある者には厳しく接した。



⑤ 坂本繁二郎《放水路の雲》1924年



④ 坂本繁二郎《箱》
1959年
寄託作品（八女市蔵）

坂本繁二郎



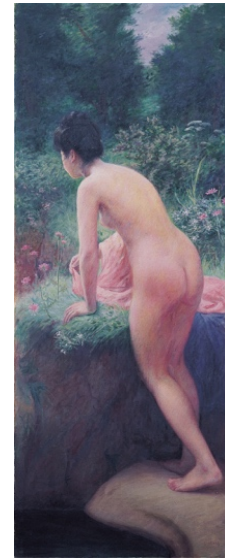
松田諦晶・井上三綱・伊東静尾

第4章 藤島武二と岡田三郎助

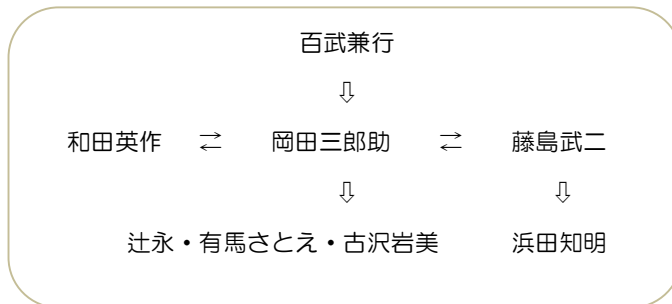


⑥ 藤島武二《五剣山の日の出》
1932年 石橋財団寄託作品

岡田三郎助は、同じ佐賀出身の先輩画家、百武兼行の油絵を見て画家を志したと伝えられる。また、藤島武二と岡田三郎助は、共に東京美術学校や研究所で多くの後進を育てた。たとえば、藤島教室で学んだ浜田知明は、「学校の方針と違う」と言って藤島にしかられたことを回想している。



⑦ 岡田三郎助
《水浴の前》
1916年
石橋財団寄託作品



第5章 華麗なる交友



⑧ 黒田清輝《鉄砲百合》1909年
石橋財団寄託作品

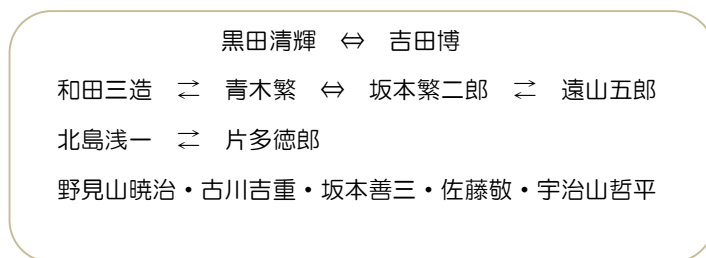


⑨ 吉田博《風景》1909年

ライバル同士、同級生、異国での交友などを紹介。

黒田清輝と吉田博は、白馬会と太平洋画会をそれぞれ率いる画家たち。画壇の対立がそのまま二人の対立

の構図となる。

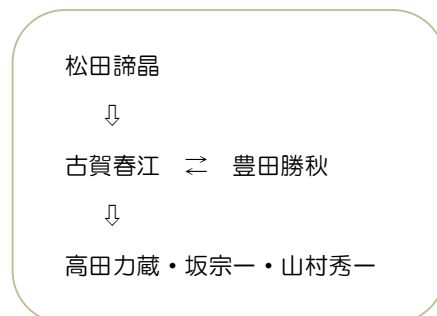


第6章 古賀春江をめぐる



⑩ 古賀春江
《素朴な月夜》
1929年
石橋財団寄託作品

古賀春江は若い頃、松田諦晶に絵を習い、二科展で画壇デビュー。その彼に兄事したのが高田力蔵と坂宗一ら。



第7章 昭和画壇



⑫ 児島善三郎《ミモザその他》
1957年

反アカデミズムから出発した二科会、そこから独立した独立美術協会、両会は昭和を代表する洋画団体。その中心にいたのが古賀春江と児島善三郎。さらに自由をモットーとする自由美術家協会に属した画家には浜田知明、平野遼らがいる。



⑪ 海老原喜之助《雪景》1930年

二科系：古賀春江・伊東静尾・織田廣喜

独立系：児島善三郎・海老原喜之助・松本英一郎

浜田知明・平野遼 など

関連事業

ミニレクチャー

2月24日（土）「久留米市美術館のコレクションの行方」

3月3日（土）「久留米市美術館の自慢の10点」

時間：14:00 - 15:00 会場：本館1階多目的ルーム 定員：先着70名（聴講無料）

講師：森山秀子（久留米市美術館副館長）

ワークショップ「コレクションブローチをつくろう」

3月10日（土）10:00 - 15:00（随時受付、材料がなくなり次第終了）

展示中の作品からお気に入りを選び、プラ板でブローチに仕上げます。

対象：3歳以上の方（小学生以下のお子様は保護者同伴） 会場：本館1階多目的ルーム

参加費：100円（ただし、大学生以上の方は、参加費に加え展覧会チケットも必要）

※なお、イベント開催のない土曜日・日曜日には、ギャラリートークを開催します

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
6. 掲載見本を必ず1部お送りください。